

表5.9

## 家庭生活における活動と意識の変化の相互関連

			①家庭や家族との生活時間の変化			②家族との心理的ギャップの変化			③家族の相互理解・円満さの変化 <sup>1)</sup>		
			増えた	変わらない	減った	和らいだ	変わらない	強まった	透析前の方がよい	変わらない	今の方がよい
④実行の変化パターン	+	N=39	27(69.2)	7(17.9)	5(12.8)	25(64.1)	11(28.2)	3(7.7)	2(5.1)	21(53.8)	14(35.9)
	±(相殺)	N=4	3(75.0)	1(25.0)		3(75.0)	1(25.0)		1(25.0)	1(25.0)	2(50.0)
	-	N=23	13(56.5)	8(34.8)	2(8.7)	6(26.1)	13(56.5)	4(17.4)	4(17.4)	13(56.5)	5(21.7)
	変化なし	N=23	9(39.1)	11(47.8)	3(13.0)	12(52.2)	10(43.5)	1(4.3)	1(4.3)	19(82.6)	3(13.0)
	していない	N=15	11(73.3)	4(26.7)		6(40.0)	9(60.0)			11(73.3)	4(26.7)
⑤外出機会	増えた	N=35	27(77.1)	7(20.0)	1(10.0)	19(54.3)	13(37.1)	3(8.6)	1(2.9)	20(57.1)	13(37.1)
	変わらない	N=27	14(51.9)	11(40.7)	2(7.4)	12(44.4)	15(55.6)			23(85.2)	3(11.1)
	減った	N=42	22(52.4)	13(31.0)	7(16.7)	21(50.0)	16(38.1)	5(11.9)	7(16.7)	22(52.4)	12(28.6)
⑥団らん	増えた	N=46	40(87.0)	6(13.0)		27(58.7)	16(34.8)	3(6.5)	2(4.3)	24(52.2)	19(41.3)
	変わらない	N=40	17(42.5)	18(45.0)	5(12.5)	14(35.0)	24(60.0)	2(5.0)	1(2.5)	33(82.5)	4(10.0)
	減った	N=18	6(33.3)	7(38.9)	5(27.8)	11(61.1)	4(22.2)	3(16.7)	5(27.8)	8(44.4)	5(27.8)
③家円族満のさ相の互変理解	透析前が良	N=8	4(50.0)	2(25.0)	2(15.0)	3(37.5)	3(37.5)	2(25.0)	<統計的検定>全て $\chi^2$ testである。 ①×② $\chi^2=10.43, df=4, p<0.05$ ×③ $\chi^2=9.70, df=4, p<0.05$ ×④ $\chi^2=9.99, df=8, N.S.$ ×⑤ $\chi^2=8.59, df=4, 0.10>p>0.05$ ×⑥ $\chi^2=28.52, df=4, p<0.001$ ②×③ $\chi^2=9.82, df=4, p<0.05$ ×④ $\chi^2=13.94, df=8, 0.10>p>0.05$ ×⑤ $\chi^2=4.89, df=4, N.S.$ ×⑥ $\chi^2=10.58, df=4, p<0.05$		
	変わらない	N=66	35(53.0)	26(39.4)	5(7.6)	28(43.1)	32(49.2)	5(7.7)			
	今の方が良	N=29	23(79.4)	3(10.3)	3(10.3)	20(71.4)	7(25.0)	1(3.6)			
②家ギ族ヤとツのプ心の理变的化	和らいだ	N=52	33(63.5)	11(21.2)	8(15.4)				③×④ $\chi^2=13.09, df=8, N.S.$ ×⑤ $\chi^2=14.55, df=4, p<0.01$ ×⑥ $\chi^2=23.40, df=4, p<0.001$ ④×⑤ $\chi^2=20.15, df=8, p<0.01$ ×⑥ $\chi^2=28.77, df=8, p<0.001$		
	変わらない	N=44	24(54.5)	19(43.2)	1(2.3)						
	強まった	N=8	6(75.0)	1(12.5)	1(12.5)						

<sup>1)</sup> 透析前と、調査時の家族構成員が全く異なっている者(3人)は除いた。

注1) 分析の対象から、透析前または現在単身者であった者、並びに透析歴1年未満の者は除いた。

注2) ( )内は、各Nに対する%である。